



ISAP 2015

International Forum for Sustainable Asia and the Pacific: ISAP
第7回持続可能なアジア太平洋に関する国際フォーラム



主要テーマ

- > SDGs
- > 気候変動

変革へのソリューション

2030年に向けた多様なパートナーとの連携強化

現在アジア太平洋地域では、経済発展著しい国々からの温室効果ガス排出量が増加する一方、地域全体がその影響を大きく受けており、緩和策や適応策の強化に加え、持続可能な発展への道を拓いていくことが求められています。

また、国際社会においては、今年末の合意・策定に向けて、2020年以降の気候変動枠組み、そして2016年～2030年までのポスト2015年開発アジェンダにおける新たなグローバル開発目標「持続可能な開発目標 (SDGs)」に関する国際交渉が本格化しています。

ISAP2015では、気候変動問題とSDGsを持続可能な社会の構築に向けた包括的な目標としてとらえ、多様なパートナー・関係者がどのように協力・連携していくべきなのか、専門家や企業、政府、自治体、国際機関、NGO関係者とともに議論を深めていきます。

2015年
7月28日 火

» 9:30-17:25

7月29日 水

» 9:30-18:00

会場 **パシフィコ横浜**
(横浜市西区みなとみらい)



言語	日本語・英語(同時通訳付)	定員	300名(各日)	参加費	無料
主催	公益財団法人 地球環境戦略研究機関 (IGES) 国連大学サステイナビリティ高等研究所 (UNU-IAS)				
協力 (予定)	国連環境計画 (UNEP)、国連アジア太平洋経済社会委員会 (UNESCAP)、アジア開発銀行 (ADB)、 経済協力開発機構 (OECD)、国立環境研究所 (NIES)				
後援 (予定)	環境省、神奈川県、兵庫県、横浜市、川崎市、北九州市、国際協力機構 (JICA)、エネルギー資源研究所 (TERI)、 横浜市立大学グローバル都市協力研究センター、慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科、 サステイナビリティ・サイエンス・コンソーシアム、イクレイ日本				

お問い合わせ ISAP事務局 Tel: 046-855-3700 Fax: 046-855-3809 Email: isap2015-info@iges.or.jp

最新プログラム & 参加申込はこちら <http://www.iges.or.jp/jp/>

交通のご案内

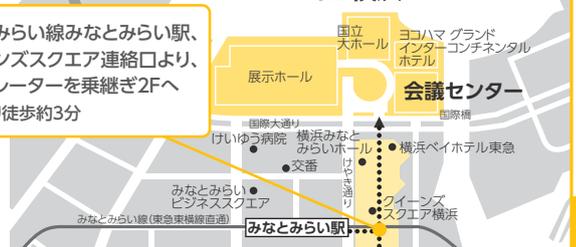
会場 パシフィコ横浜 会議センター

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1-1 TEL: 045-221-2155(総合案内)

- **みなとみらい線** みなとみらい駅より徒歩3分
「クイーンズスクエア方面」改札口を出て、左手奥にある、長い赤のエスカレーターを利用。さらに正面のエスカレーターへ乗り継ぎ左へ、「クイーンズスクエア横浜」の2Fを通り抜け、陸橋を渡ります。
- **JR線・市営地下鉄** 桜木町駅より徒歩12分、バスで7分、タクシーで5分
- **横浜駅よりタクシー** 7分、シーバス(船)で10分

みなとみらい線みなとみらい駅、クイーンズスクエア連絡口より、エスカレーターを乗継ぎ2Fへ
※駅より徒歩約3分

パシフィコ横浜



ISAPとは >>

国際的に活躍する専門家や企業、政府、NGO関係者が一堂に会し、アジア太平洋の持続可能な開発に関する多様な議論を2日間にかけて行うフォーラムです。

毎年時宜を得たテーマを取り上げ開催し、持続可能なアジア太平洋に向けた情報共有・発信と継続的な連携の場となることを目指します。

ISAP プログラム概要

※2つのテーマにてセッションを開催します **SDGs** **気候変動**

【第1日目】7月28日(火)

09:30-09:55	オープニングセッション OP	
10:00-10:20	基調講演 ジェフリー・D・サックス 持続可能な開発ソリューションネットワーク(SDSN)ディレクター/コロンビア大学地球研究所長	
10:25-11:40	全体会合1	2030年までにすべての人により良い世界を:2015年以降の開発目標に関する展望と見解 ジェフリー・D・サックス 持続可能な開発ソリューションネットワーク(SDSN)ディレクター/コロンビア大学地球研究所長 石井 菜穂子 地球環境ファシリティ(GEF)CEO兼議長/持続可能な開発ソリューションネットワーク(SDSN)ジャパン国際アドバイザー (他) SDGs P-1 11:30-11:40 「持続可能な開発ソリューションネットワーク(SDSN) ジャパン」発足式
11:40-11:50	休憩	
11:50-13:05	全体会合2	COP21でのより意欲的な合意に向けて:気候変動対策を促すダイナミックサイクルの構築 ラエ・ウォン・チュン 国連事務総長室気候変動担当上級顧問 住 明正 国立環境研究所(NIES)理事長 (他) 気候変動 P-2
13:05-14:25	休憩	13:15-14:15 ランチセッション COP21に向けたアジアにおける低炭素技術協力:可能性と課題 気候変動 L-1
14:25-15:40	全体会合3	新段階に入った気候政策に向けた日本・中国・韓国の役割 川口 順子 明治大学国際総合研究所特任教授 小林 光 慶應義塾大学特任教授 (他) 気候変動 P-3
15:40-15:55	休憩	
15:55-17:25	パラレルセッション	
	アジア諸国はどのようにSDGsを実施するのか: 各国の準備状況 SDGs PL-1	気候変動に関する科学と国際協力: 温室効果ガスインベントリの役割と課題 気候変動 PL-2
	神奈川からエネルギーを考える 気候変動 PL-3	

【第2日目】7月29日(水)

09:30-10:45	全体会合4	気候変動と持続可能な開発目標(SDGs)をいかに結びつけるのか 玉木 林太郎 経済協力開発機構(OECD)事務次長兼チーフエコノミスト代理 カジ・コリクザマン・アマド バングラデシュ・マイクロファイナンス研究所長 (他) SDGs 気候変動 P-4
10:45-11:00	休憩	
11:00-12:30	パラレルセッション	
	低炭素経済への移行のための政策調和: OECDによる提言と日本を含めた アジア太平洋への含意 気候変動 PL-4	低炭素技術転移を可能とする パートナーシップの成功の秘訣 気候変動 PL-5
	アジアの廃棄物処理: 現場のニーズを踏まえた技術転移 SDGs PL-6	
12:30-14:00	休憩	12:45-13:45 ランチセッション アジアにおける大気科学と政策のインターフェイス強化 気候変動 L-2
14:00-15:30	パラレルセッション	
	アジアの自治体によるレジリエント都市構築に 向けた取り組み SDGs PL-7	測定・報告・検証(MRV)を通じた 緩和活動の促進 気候変動 PL-8
	金融包摂と気候変動適応、SDGsへの示唆 SDGs PL-9	
15:30-15:45	休憩	
15:45-17:15	パラレルセッション	
	気候変動の国際枠組みにおける都市の役割: COP21後を見据えて 気候変動 PL-10	SATOYAMAと持続可能な開発: 現場への資金支援と知識形成をつなぐ SDGs PL-11
	アジア太平洋地域にふさわしい 持続可能な消費と生産への移行: 優先課題と機会 SDGs PL-12	
17:15-17:25	休憩	
17:25-18:00	閉会セッション	

※最新のプログラムはIGESホームページにてご確認ください

プレゼンテーション

7/28 13:05-14:25 気候変動適応のための新しい沿岸海洋環境ガバナンス
7/29 12:30-14:00 (発表団体: LEAD ジャパン API: Asia Pacific Initiative)

ビデオセッション(ランチ休憩時)

7/28 IGESの森林ガバナンスに関するe-ラーニングシリーズの上映
7/29 森林のガバナンス、保全及び多様性に関するビデオの上映